

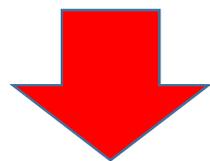
学校現場における防災・減災教育の取組

～過去の水害を振り返り、教訓を次世代につなぐ～

豊岡市立中筋小学校

兵庫県豊岡市の概要

- 平成17年、1市5町合併で誕生
- 特別天然記念物 コウノトリ
- 鞆製造、生産量日本一
- 城崎温泉、城下町出石、神鍋高原
- 市域の約8割が森林
- 中央部には一級河川円山川
河川勾配は10万分の1
(10Kmで1m下がる)

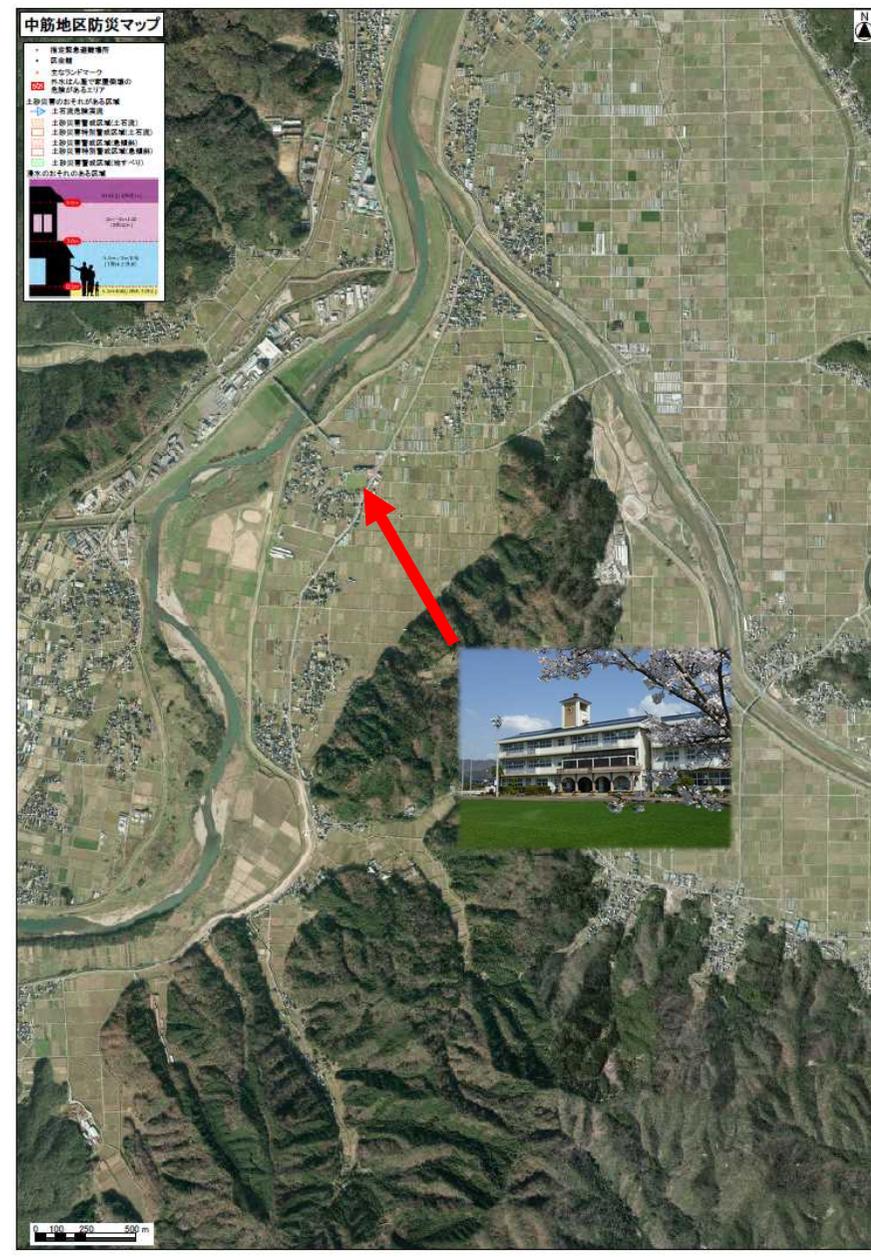


水害常襲地帯



中筋小学校校区の概要

- 市中心部から東南方面約 6 km に位置する田園地帯、9つの地区で構成
- 円山川と出石川の合流部のデルタ地帯
- 河川氾濫の被害と、運ばれる肥えた土
⇒ 県下有数の野菜産地



豊岡市の防災・減災教育への取組

- 平成16年台風23号は、甚大な被害をもたらし、災害に強い地域づくりを進めるきっかけとなった。



豊岡市の防災・減災教育への取組

- 学校教育現場では「メモリアルデー防災・減災授業」を推進。市内公立小中学校で年3回実施
 - 5月23日：北但大震災
 - 10月23日：台風23号
 - 1月17日：阪神淡路大震災
- 国土交通省豊岡河川国道事務所と市が協力して作成した防災教育教材を授業に活用

豊岡市防災教育教材の特徴

(1) 学齢のレベルに応じたテーマを設定した教材を作成

学齢		授業テーマ
高 学年	テーマ2	わたしたちができること ～助けられる側から助ける側へ～
	テーマ1	洪水災害にどのように対応するか ～避難方法を知る～ ※令和2年に避難情報の「警戒レベル」を追記
中 学年	テーマ2	自然との共生
	テーマ1	洪水災害とその対策
低 学年	テーマ2	自分の命は自分で守る
	テーマ1	雨の恵みと災い

学齢別の主な特長

- ・思いやる**共感能力**が発達。
- ・**自律的な態度**が発達。

学齢別の主な特長

- ・**地域の施設・行事、自然等への関心**も増加。
- ・**内省する力**が発達。

学齢別の主な特長

- ・自分でしなければならぬ**こと**ができるようになる。
- ・行ってよいことと悪いことの**理解**ができるようになる。

豊岡市防災教育教材の特徴

(2) 我がこと意識の醸成

- 水害の教訓を後世に継承するために、映像や写真、自宅周辺の防災マップを使い、豊岡の地域性を踏まえた内容を盛り込む。

(3) 授業に活用しやすい教材の作成

- 授業の展開に応じて修正・抜粋するなど編集可能な資料を提供
 - 学習指導案
 - 振り返りのためのワークシート
 - 授業用パワーポイント資料
 - 副読本
 - 資料画像、動画

【参考事例】

○学習指導案

小学校高学年
テーマ①

水害にどのように対応するか～避難方法を知る～

小学校低学年

小学校
中学

学習のねらい	大雨の危険と、雨の良いところを知る		
	Step1：大雨による災害を知る（復習をして再確認する） Step2：大雨による災害からの避難と避難に役立つ情報を知る Step3：状況に応じて避難が異なることを知る（避難判断の難しさを体感する）		
必要物品・資料	<input type="checkbox"/> 【高学年】説明用パワーポイント① <input type="checkbox"/> プロジェクター・スクリーン <input type="checkbox"/> 【高学年】ワークシート① <input type="checkbox"/> レーザーポインター（もしくは差し棒）		
学習活動	ppt	発問例と予想される生徒の反応例 発問・指示(●) 予想される反応(・)	指導上の留意点 支援(◆) 評価(☆)
学習の題目 1分	1		
導入 計 10分			
1. 大雨による災害を知る (復習・再確認)			
1-① 大雨が降ったとき、街がどうなってしまうのかを知る	2	<ul style="list-style-type: none"> ● 雨がたくさん降ると、どんなことが起きるでしょうか。 ・ 水害が起きる。 (道路が水に浸かる。川が溢れる。) → 模範解答を提示 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 児童(数名程度)を指して、答えさせる。 ◆ 大雨が降ると、町が危険な状況になることがあることをおさえる。
	3	<ul style="list-style-type: none"> ● みんなの住む町や近くの町で、以前に大雨が降ったとき、どうなったのか知っていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 写真提示： (H30年度に配布した写真集も活用)
	4~8	<ul style="list-style-type: none"> ●【地域で発生した水害・土砂災害の紹介】 	

○ワークシート

【テーマ1】【ワークシート】

大雨が降ったときに

身を守る行動を知ろう

____年 ____組 ____番 名前(____)

1. 次の状況を想像してください。それぞれの状況では、あなたは避難しますか？ 避難しませんか？

状況	どちらかに ○をつけてください		理由
	避難場所 に避難 する	避難場所 に避難 しない	
A: 「〇〇市の川で水があふれた」というニュースを見た			
B: 市役所から「警戒レベル4 避難勧告」が発令され、避難場所が開いた			
C: 家の1階の床まで水がきた			

2. 今日の学習で、わかったこと・思ったこと

今日の宿題

▶ 防災マップを確認しましょう。



どうなる？

- 1 | 大雨のときに、家のまわりは _____ m 浸水するかもしれない

- 2 | 大雨のときに _____ になるかもしれない

どうする？

- 1 | 危なくなったら _____ する

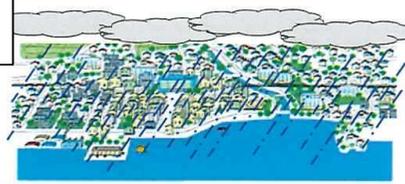
- 2 | _____ する

○授業用パワーポイント資料

大雨が降ったときに 身を守る行動を知ろう！

国土交通省 近畿地方整備局
豊岡河川国道事務所
(資料提供・編集協力) 豊岡市

もし、大雨がずっと降り続いていたら・・・



みんなの町や地域では
どんなことが起こるだろう？

この大雨で、豊岡市でも
水害
が発生しました



豊岡市では 台風23号のときの様子



豊岡市では 台風23号のときの様子



豊岡市では 台風23号のときの様子



豊岡市では 台風23号のときの様子



もし、大雨がずっと降り続いていたら・・・



今日のふりかえり

大事な こと

水害から
身を守る こと

副読本

豊岡市生まれの偉人 「砂防の神様」 **赤木 正雄**

赤木正雄という人を知っていますか？

明治10年（1887年）に豊岡市の引野で生まれ東京大学を卒業してから、内務省（いまの国土交通省）で働きました。

「川を安全にするためには、山をなおさなくてはならない」と、全国で山と川の工事を指導しました。

その工事では、山がくずれないように木を植えたり、土砂が雨水といっしょに流れ出ないようにする技術を使いました。このように、山がくずれたりしないようにする対策を「砂防」と言います。この砂防工事は全国で役に立ち、世界でも有名になりました。「砂防の神様」と尊敬されています。「砂防」という日本語は、世界中で日本語の言い方のまま「S A B O」と使われています。



赤木正雄の銅像（豊岡市 塩津町）

でかけるときのいつものスタイル（リュックサックに登山グッズがた）です。

行ってみよう！「赤木正雄展示館」



豊岡市引野には、赤木正雄が生まれた家が今でも残っており、国の文化財にも選ばれています。明治3年（1870年）につくられたときのままです。水害にそなえて、地面から2m高い石がきの上に家が建てられています。近所の人たちの避難場所にもなっていたようです。



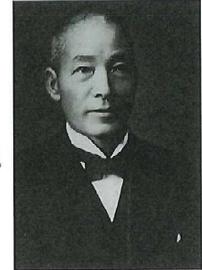
今は、家の一部が「赤木正雄展示館」になっており、映像や資料をみることができます。

写真：国土交通省 豊岡河川国道事務所

トピックス 豊岡市生まれの偉人 「治水の神様」 **沖野 忠雄**

沖野忠雄という人を知っていますか？

嘉永7年（1854年）に豊岡市大磯で生まれ、元治元年（1864年）と慶応2年（1866年）と明治3年（1870年）の3回の大水害を経験しました。学校の成績がとても良かったので、豊岡藩のお金で東京大学に進学し、その後、国のお金でフランスにわたって土木工学を学びました。日本に帰ってから内務省（いまの国土交通省）で働きました。新しい技術で日本国中のあばれ川や港づくりの大工事を指導しました。とくに大阪港や淀川の工事は有名です。「治水の神様」とよばれ、尊敬されています。



門山川第一期改修工事のときは退職していましたが、重要なアドバイスをしました。

行ってみよう！「出石神社の沖野忠雄の石碑」



出石神社の境内に、「治水の神様」沖野忠雄の石碑があります。石碑は高さ5mもあります。石碑のうらには「但馬をゆたかな地方にしたアメノヒボコをまつているこの出石神社に、沖野忠雄博士の碑をたてて、博士のすばらしい仕事と人格をきねんする」という意味の文章がぎざまれています。



出石神社の神様アメノヒボコにはどろ水の海だった豊岡盆地から水をぬいたという伝説があります。

写真：国土交通省 豊岡河川国道事務所

豊岡市防災教育教材の特徴

- (4) 新型コロナウイルス蔓延下における避難の想定
新型コロナウイルス蔓延下における避難をテーマに
『コロナ禍防災教育』を追加で作成



中筋小学校の取組



中筋小学校の取組



地域の特色を活かして



中筋地区

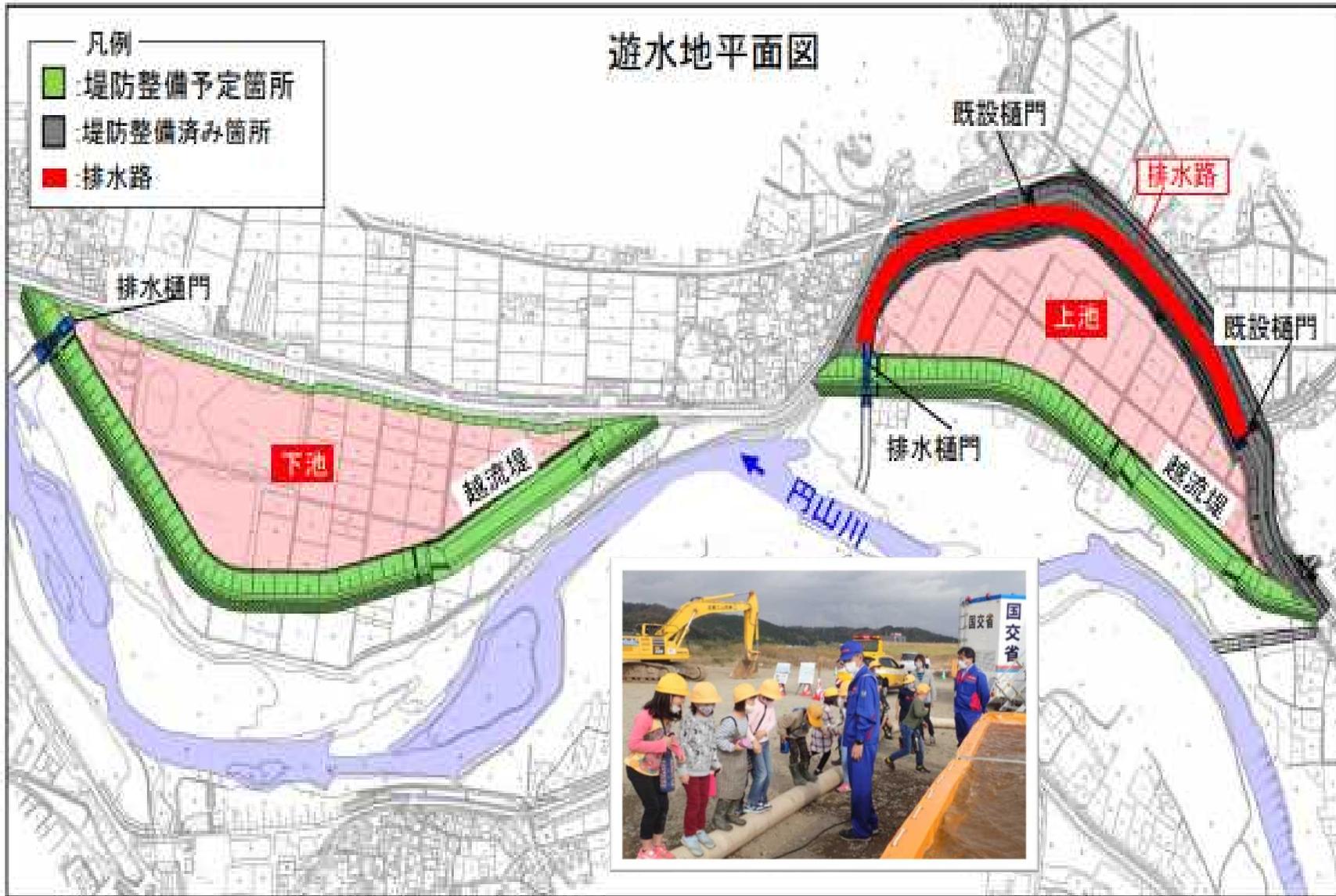
避難所運営マニュアル

(風水書編)

コミュニティ
なかすじ

遊水地平面図

- 凡例
- 堤防整備予定箇所
 - 堤防整備済み箇所
 - 排水路



取り組みの成果

【豊岡市】

- 身近な写真や周辺の防災マップを確認することで、水害や防災を身近に感じ、自分事として捉えることができている。
- 視覚的に分かりやすい資料で災害に対するイメージが容易となっている。
- O×クイズ等、低学年でも思考しやすい内容で児童の理解度も深まっている。

【中筋小学校】

- 市独自の資料を活用した防災授業を行ったうえで本校児童の実態に即した避難訓練を実施することにより、児童の防災に対する意識が相乗的に高められている。

今後の展望

【豊岡市】

- 学びの実践の場として、市民総参加訓練などへの参加を促し、要援護者の避難誘導など地域の防災を担う人材としての育成を目指す。
- 幼稚園児にもわかりやすい教材の作成や高校生向けに地域への貢献などを意識した教材の作成にも取り組む。

【中筋小学校】

- 学習で得た知識を家族に伝え、災害時の避難場所・避難方法等の具体的な対応について家族と話し合い、共通理解を深めさせる。

ご清聴ありがとうございました。



豊岡市
Toyooka City